

資料No.1

後期高齢支援システム標準化
検討会（第5回）

令和5年3月27日

後期高齢支援システム標準化検討会 (第5回)

第5回検討会の進め方について

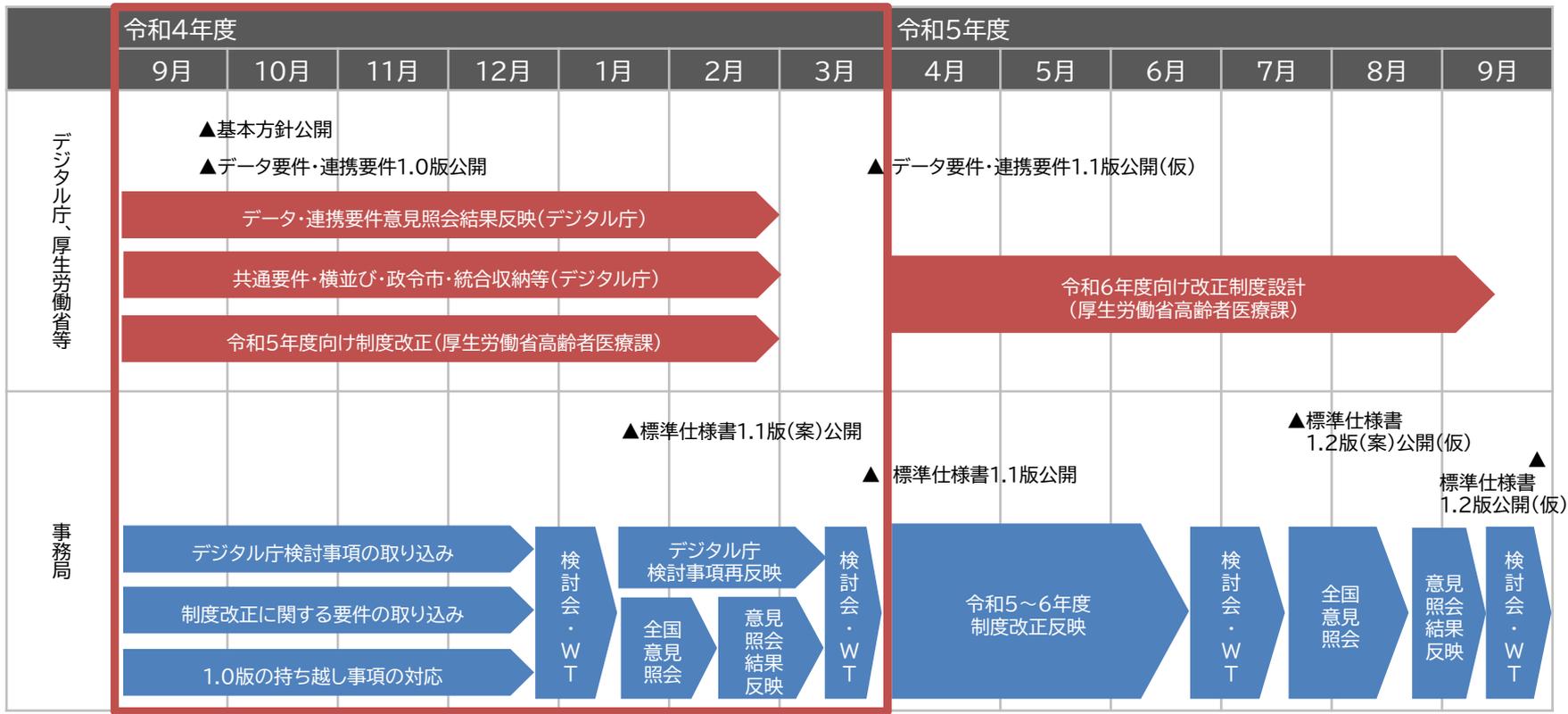
令和5年3月27日

事務局提出資料

1. 後期高齢支援システムの標準化について

- 後期高齢支援システムの標準仕様書1.1版(案)については、以下のスケジュールで改定作業を実施している。令和4年9月～令和5年3月における実施内容を次ページにお示しする。

標準仕様書
第1.1版公開



1. 後期高齢支援システムの標準化について

- 2023年1月の後期高齢支援システム標準化検討会(第4回)においてご承認いただいた後期高齢支援システムの標準仕様書1.1版(案)について第5回の検討会までの間に以下の対応を実施した。

① 標準仕様書1.1版(案)について全国意見照会を実施。意見照会の内容を踏まえ、標準仕様書への反映を実施。



② デジタル庁から示された横並び調整方針等のデジタル庁検討事項について標準仕様書への反映を実施。



③ ①②の結果を踏まえ、修正した標準仕様書1.1版(案)について以下の会議を開催。構成員の方から意見を頂戴した。
・第5回ベンダ分科会
・第5回市区町村WT



④ ③の結果を踏まえて修正した標準仕様書1.1版(案)を各構成員に回覧し、いただいたご意見などを反映。

1. 後期高齢支援システムの標準仕様書1.1版策定に向けた作業について(資料2)

- 前ページで実施した作業の内容について
「後期高齢支援システムの標準仕様書1.1版策定に向けた作業について」として資料2にまとめている。
- 資料2を前提として、本日ご提示の以下の資料にまとめている。
 - ・資料3 機能・帳票要件
 - ・資料4 帳票レイアウト
 - ・資料5 帳票詳細要件
 - ・資料6 後期高齢支援システム標準仕様書(本紙)1.1版
 - ・参考資料 業務フロー、帳票デザイン基本方針書

本検討会では、資料2「後期高齢支援システムの標準仕様書1.1版策定に向けた作業について」にまとめた内容に疑義事項がないかご確認いただきたい。

2. 標準仕様書(案)について(資料3から資料6、参考資料について)

2023年1月の標準仕様書1.1版(案)から意見照会結果を踏まえて、資料3～6、参考資料については以下の員数の増減が発生している。

(資料3)機能・帳票要件

※機能要件や帳票要件、機能ごとの管理項目を定義

業務区分	要件数		偏差 (b-a)
	標準仕様書 1.1版(案) (a)	標準仕様書 第1.1版 (b)	
共通	110	120	10
被保険者資格	23	23	0
保険料賦課	75	76	1
保険料収納	88	99	11
滞納管理	71	72	1
合計	367	390	23

(資料4)帳票レイアウト、(資料5)帳票詳細要件

※住民向け帳票に関してレイアウト、印字項目、条件等を定義

業務区分	要件数		偏差 (b-a)
	標準仕様書 1.1版(案) (a)	標準仕様書 第1.1版 (b)	
共通	2	2	0
被保険者資格	0	0	0
保険料賦課	8	8	0
保険料収納	15	16	1
滞納管理	5	5	0
合計	30	31	1

(資料6)標準仕様書(本紙)1.1版

※標準仕様書の対象範囲や取り扱い等の方針を定義

章番号	修正 ページ数
第1章	4
第2章	1
第3章	8
第4章	0
第5章	0
合計	13

(参考資料)業務フロー

※各機能要件をどのような流れで利用するか等を定義

業務区分	フロー数		偏差 (b-a)
	標準仕様書 1.1版(案) (a)	標準仕様書 第1.1版 (b)	
共通	1	1	0
被保険者資格	2	2	0
保険料賦課	8	8	0
保険料収納	6	6	0
滞納管理	2	3	1
合計	19	20	1

本検討会では、資料3～6、参考資料について疑義事項がないことをご確認いただきたい。

3. 検討・課題の申し送り事項について(資料7)

- 今回の過程で資料3から資料6に反映できなかった事項は、令和5年度以降に引き続き検討する事項として、資料7「検討・課題一覧」にまとめている。

(資料7)検討・課題一覧 残課題抜粋

No.	検討・課題事項	対応方針
1	保険料の激変緩和措置の対応について	標準仕様書1.2版(仮名)以降の持ち越し事項とする。
2	デジタル庁整理事項の反映	<ul style="list-style-type: none"> ①実装類型の点検・・・完了 ②共通機能要件の見直し・・・(案)の内容で取込 ⇒(確定稿)での変更がないかは確認が必要【残】 ③政令指定都市向け機能要件・・・未取込【残】 ④統合収滞納関連・・・本紙で吸収 ⇒求める要件は変わらないが最終的には機能・帳票要件に反映が必要【残】 <p>③については今後の整理次第と考えている。 ②④については、機能要件への影響はないため、1.1版確定には影響はなく1.2版(仮名)以降への持ち越し事項とする。</p>
3	マイナンバーカードと保険証の一体化への対応について	標準仕様書1.2版(仮名)以降の持ち越し事項とする。
4	特定健診業務のサブシステム化について	標準仕様書1.2版(仮名)以降の持ち越し事項とする。

本検討会では、資料7に疑義事項がないことをご確認いただきたい。

4. 標準仕様書 第1.1版について

- 当検討会における「標準仕様書 第1.1版」の決定プロセスは以下のとおりとさせていただきたい。
- なお、当検討会にて新たな疑義事項が追加された場合は、疑義事項の内容に応じて、検討会の場において取り扱いを議論し、座長に決議をとっていただく。

① 後期高齢支援システムの標準仕様書策定に向けた作業について(資料2)



- ☑ 検討事項について適切に検討されており、未解決事項は検討・課題一覧で引き継がれていることから、疑義事項がない

② 標準仕様書 第1.1版について(資料3から資料6、参考資料)



- ☑ 意見照会やWT及びベンダ分科会の意見が反映された「標準仕様書 第1.1版」となっており、未解決事項は検討・課題一覧で引き継がれているため、疑義事項がない

③ 検討・課題一覧の申し送り事項について(資料7)



- ☑ 未解決事項は検討・課題一覧で引き継がれており、疑義事項がない

標準仕様書 第1.1版の決定

(標準仕様書(本紙)、機能・帳票要件、帳票詳細要件、帳票レイアウト、業務フロー)